

令和5年度農業学園開講式および第1回講座「先進事例研修」

令和5年6月15日（木）に行方市玉造公民館にて令和5年度行方地域農業学園開講式を行いました。

開講式では、10名の学園生が参加し、普及センター長から今後の行方農業を支えていく担い手へ激励の挨拶がありました。

第1回講座では、青年農業士の根崎良典氏をお招きして、就農のきっかけや作付品目・経営の特色などについて講話をしていただきました。

さらに、学園生へ「農業をするうえで一番大切なものは“やる気”だと考えている。前向きな気持ちで農業に取り組んでほしい。」とアドバイスを頂きました。



第2回講座「ドローン活用講座」



7月25日（火）に、第2回講座を行い、学園生7名が参加しました。

神栖市に本社を置く、国産ドローンの販売や農薬散布代行事業を行っている「株式会社ジーウイング」様にドローンの初歩的な知識や農業に取り入れるメリット、資格や導入までの流れなどについて講演をしていただきました。

圃場では、使用機体の説明をしていただいた後、水を用いたデモ散布を行い、その様子を見学しました。

また、ホビードローンをを用いた操縦体験も行いました。



第5回講座「農作業安全・農機セルフメンテナンス及び直売所見学 研修」

11月13日（月）に、第5回講座を開催し、農業学園生11名が参加しました。

阿見町にあるヤンマーアグリソリューションセンター関東に見学に行き、担当者から農作業事故の実態や事故事例、事故を起こさないために注意すべき事項についてご講話いただきました。さらに、農業機械の構造や点検をする際のポイント等の説明を受け、セルフメンテナンス方法について学びました。

直売所見学では、ポケットファームどきどきつくば牛久店を訪れ、店頭に並んでいる商品の特徴や、価格設定について知見を深めました。



第6回講座「行方地域農業後継者プロジェクト活動発表会」



令和6年1月12日（金）に、第6回講座を開催し、農業学園生10名が参加しました。

本年度のプロジェクト活動の成果として、潮来市で就農4年目の山本氏が「トマト栽培における総合的病害虫防除法の確立をめざして」と題し、農薬の使用を抑えたコナジラミ類やセンチュウの防除の取り組みについて発表を行いました。これらの発表を受け、農業三士から様々なご助言を頂きました。

また、講座後には交流会を行い、管内の若手農業者が親睦を深めました。